

釜石大観音、恋人の聖地に 親しまれる「愛」の石板

Tweet

G+ 0

チェック



釜石市大平（おおだいら）町の釜石大観音は、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市、志垣恭平理事長）が認定するデートスポット「恋人の聖地」に選ばれた。県内では4カ所目で、19日に聖地の証となる銘板を受ける。平和を祈願して建立した釜石大観音は「愛」の文字を刻んだ石板で知られ、大海原をバックに永遠の絆を確かめ合う場として、さらに人気を集めそうだ。

3月にファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎（かりやざき）省吾さんらによる選定委員会を開き、4月に認定した。19日に東京都で銘板を受け、拝観者用エレベーター付近に掲げる予定だ。

釜石大観音は平和と慈愛の象徴とされ、大海を望む絶景も有名だ。震災後の2012年には、被災したカップルらの市民結婚式場になった。観音像の足元には「愛」の文字を刻んだ石板モニュメントや、津波でも切れなかったもやい綱のレプリカもあり、記念撮影の場として人気だ。多くの恋人や夫婦が訪れ、長く親しまれてきたことが認定につながった。

【写真＝「愛」の文字を刻んだ釜石大観音の石板モニュメント。カップルの記念撮影の場として人気だ】

(2016/05/19)

[PR]

